福島工業高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)		授業科目	女性労働史	
科目基礎情報							
科目番号	0123		科目区分	専門 / 選択			
授業形態	演習		単位の種別と単位数	学修単位: 2			
開設学科	ビジネスコミュニケーション学科		対象学年	5			
開設期	前期		週時間数	2			
教科書/教材	特定の教科書は使用しない。						
担当教員	若林 晃央						
到達目標							
女性の人生設計の中心をなしてきた「結婚」と、その背景にある階級について理解すると共に、女性労働のあり方について広い視野から深く考えられるようになって欲しい。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1							
評価項目2							
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	結婚と恋愛について学際的に学ぶと共に、女性が果たしてきた役割や女性労働システムの変遷について学ぶ。						
授業の進め方・方法	この科目は学修単位科目のため、授業時間外の学習として、レポートを課す。 中間試験は実施しない。 期末試験は50分の試験を実施する。 レポート40%、定期試験60%で評価し、60点以上を合格とする。						
注意点							
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
前期	1stQ	週	授業内容	週ごとの到達目標			
		1週	イントロダクション	訳語としての「恋愛」			
		2週	「結婚」とは何か？	デュビーの見解、男女の「戦略」の違い			
		3週	「結婚」と女性①	「結婚」の誕生と発展			
		4週	「結婚」と女性②	古代ローマの「結婚」、ユダヤ教の「結婚」			
		5週	「結婚」と女性③	キリスト教の「結婚」			
		6週	「結婚」と女性④	「結婚」の変容			
		7週	「恋愛」とは何か？	フィナモール			
	2ndQ	8週	前近代の女性労働	「妻」の役割、工業化のインパクト			
		9週	近代イギリスの女性労働①	階級制度と女性			
		10週	近代イギリスの女性労働②	メイド			
		11週	近代日本の女性労働①	女中、女工			
		12週	近代日本の女性労働②	職業婦人			
		13週	「副」の役割としての女性	公認の愛妾、女将			
		14週	現代日本の女性労働	OL			
		15週	まとめ	まとめ			
16週							
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週		
基礎的能力	人文・社会科学	社会	地理歴史的 分野	民族、宗教、生活文化の多様性を理解し、異なる文化・社会が共存することの重要性について考察できる。	4		
			現代社会の 考察	現代社会の特質や課題に関する適切な主題を設定させ、資料を活用して探究し、その成果を論述したり討論したりするなどの活動を通して、世界の人々が協調し共存できる持続可能な社会の実現について人文・社会科学の観点から展望できる。	4		
専門的能力	分野別の専門工学	経済・ビジネス系分野	経営	企業の社会的責任について説明できる。	4		
				日本的経営について説明できる。	4		
				雇用管理について説明できる。	4		
				労働時間管理について説明できる。	4		
				賃金管理について説明できる。	4		
				人材教育について説明できる。	4		
				外部人材活用について説明できる。	4		
労使関係管理について説明できる。	4						
評価割合							
	試験	レポート	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	60	40	0	0	0	0	100
基礎的能力	60	40	0	0	0	0	100

専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0